

手描きイラストを使用したアクリルスタンドの製作②

1. 2 レーザーカッターによる加工

レーザーカッターを用いて手描きイラストを使用したアクリルスタンドのカットラインを加工する方法は下記の図1-11(a)から図1-11 (j)の通りである。

- 1 レーザーカッターの電源を入れる。
- 2 SmartDIYs Creatorを起動し、USBケーブルでコンピュータと接続した後、画面上部に「接続済み」と表示されていることを確認する。

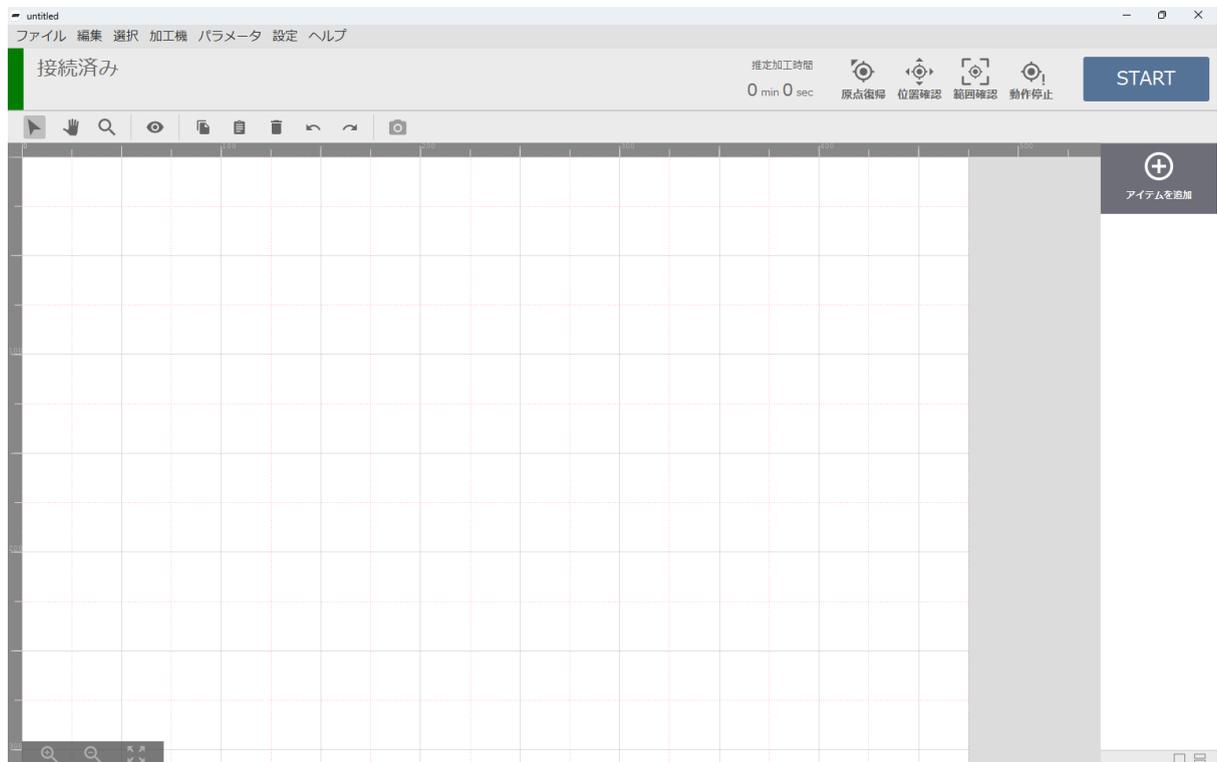


図1-11(a) レーザーカッターによる加工

- 3 レーザーヘッドとアクリル板の距離を調整する。

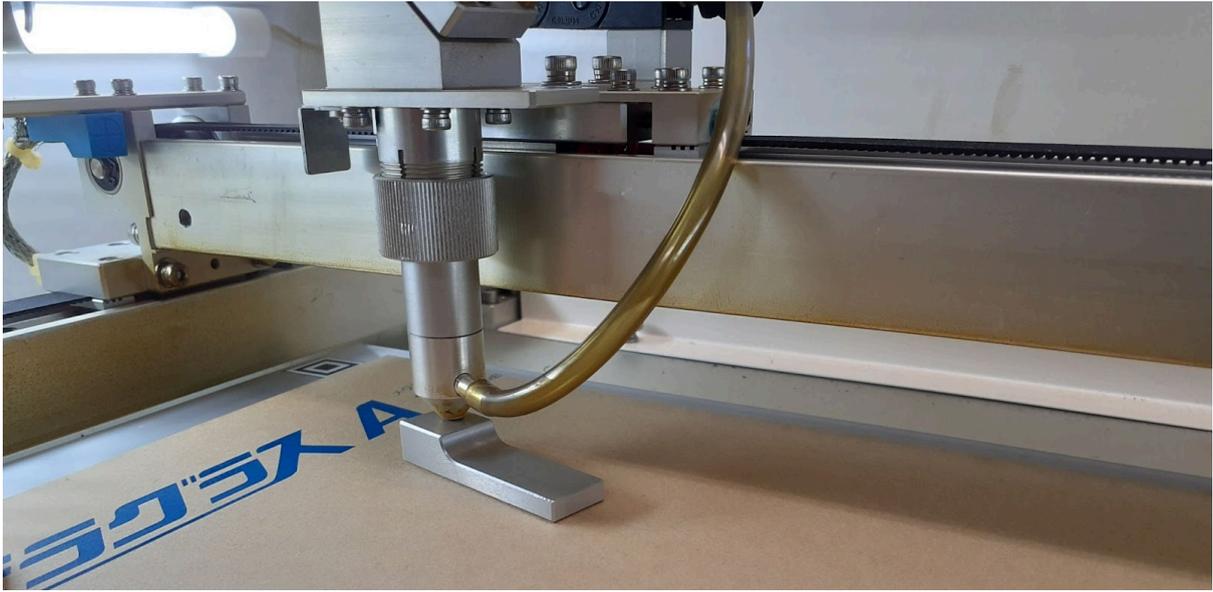


図1-11(b) レーザーカッターによる加工

4 「カメラ」のマークを選択し、追加表示されたウィンドウに素材の高さを入力する。今回は3mmの亚克力板であるため、「高さ=3.0mm」に設定し「OK」を選択する。

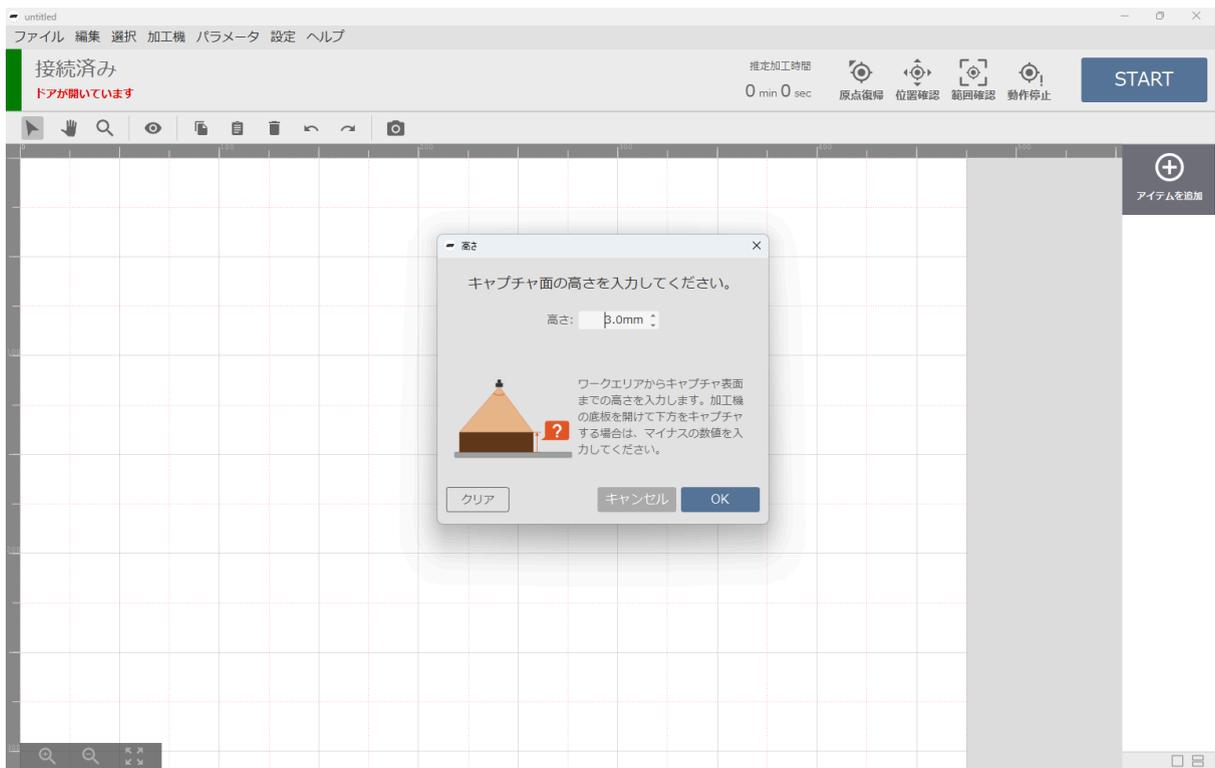


図1-11(c) レーザーカッターによる加工

5 画面右側の「アイテムを追加」を選択し、「ファイル選択」から作成したSVG形式のファイルを開く。

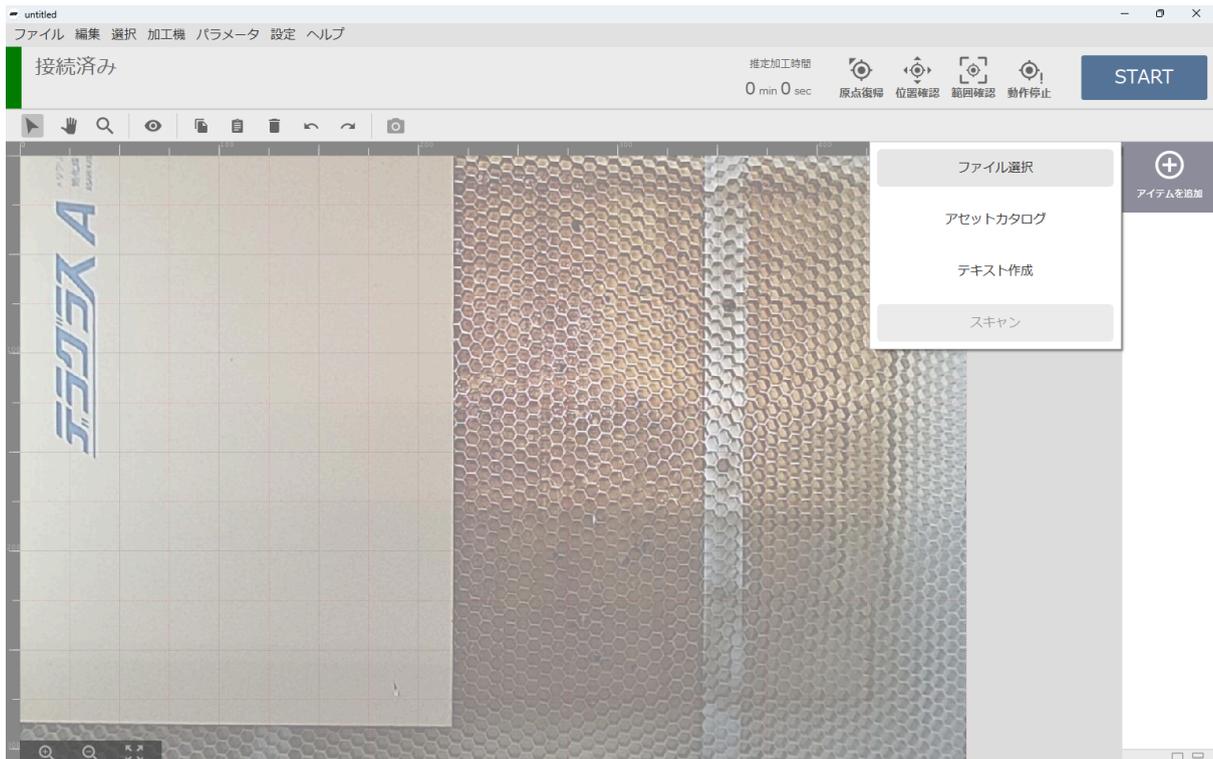


図1-11(d) レーザーカッターによる加工

6 画面右側のアイテムを選択し、追加表示されたウィンドウの「プリセット」項目で「アクリル」→「アクリル(透明)5mm切断」を選択する。

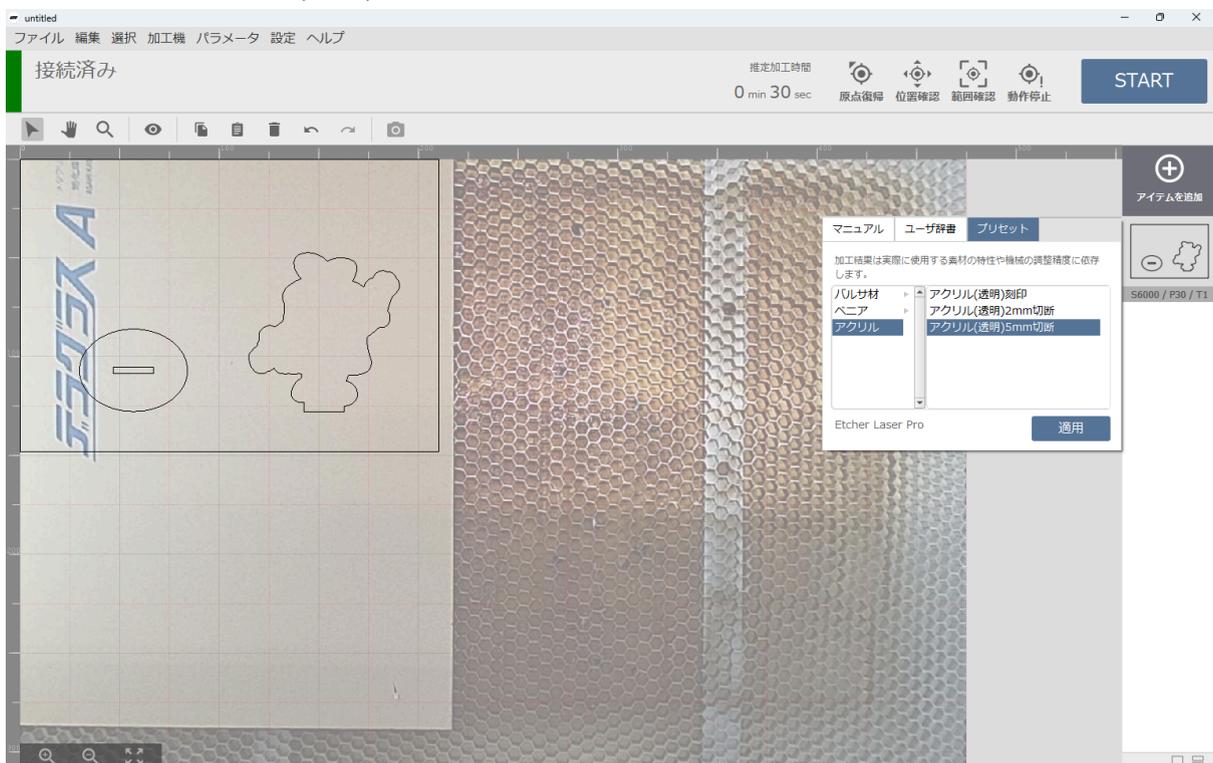


図1-11(e) レーザーカッターによる加工

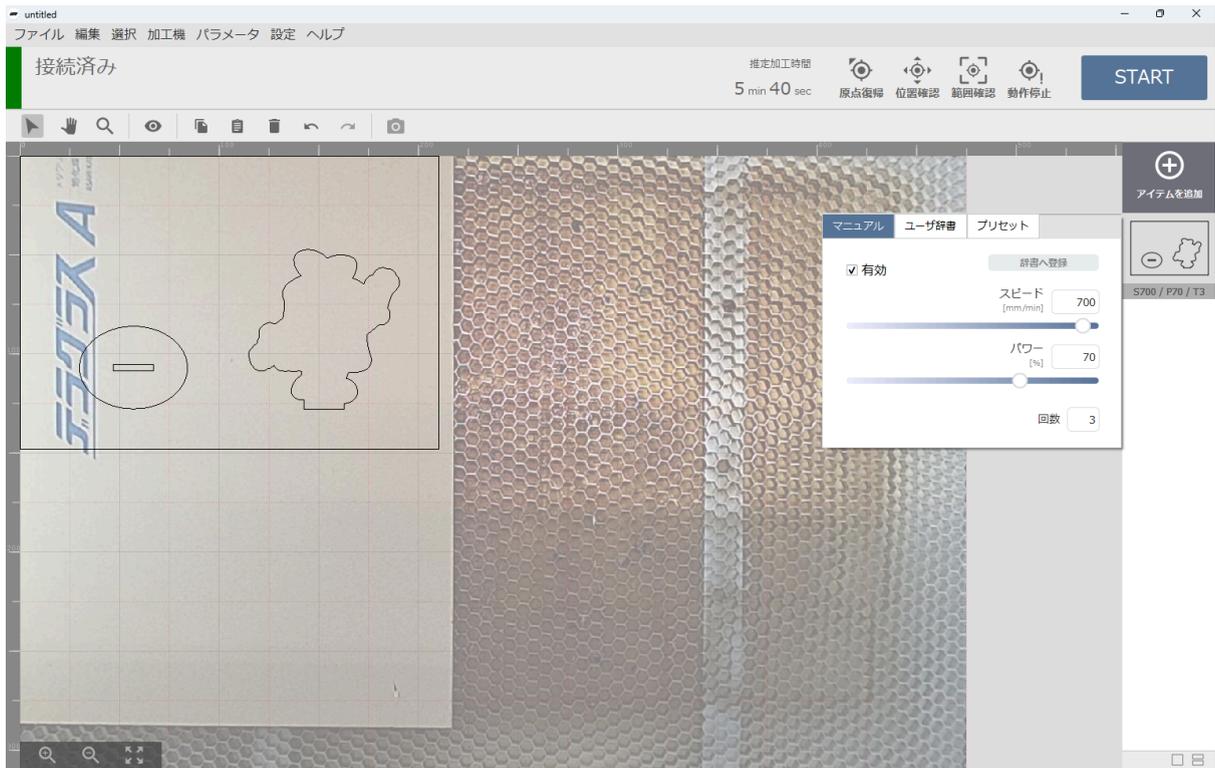


図1-11(f) レーザーカッターによる加工

7 画面右上の「START」を選択し、追加表示されたウィンドウの「OK」を選択し、加工を開始する。

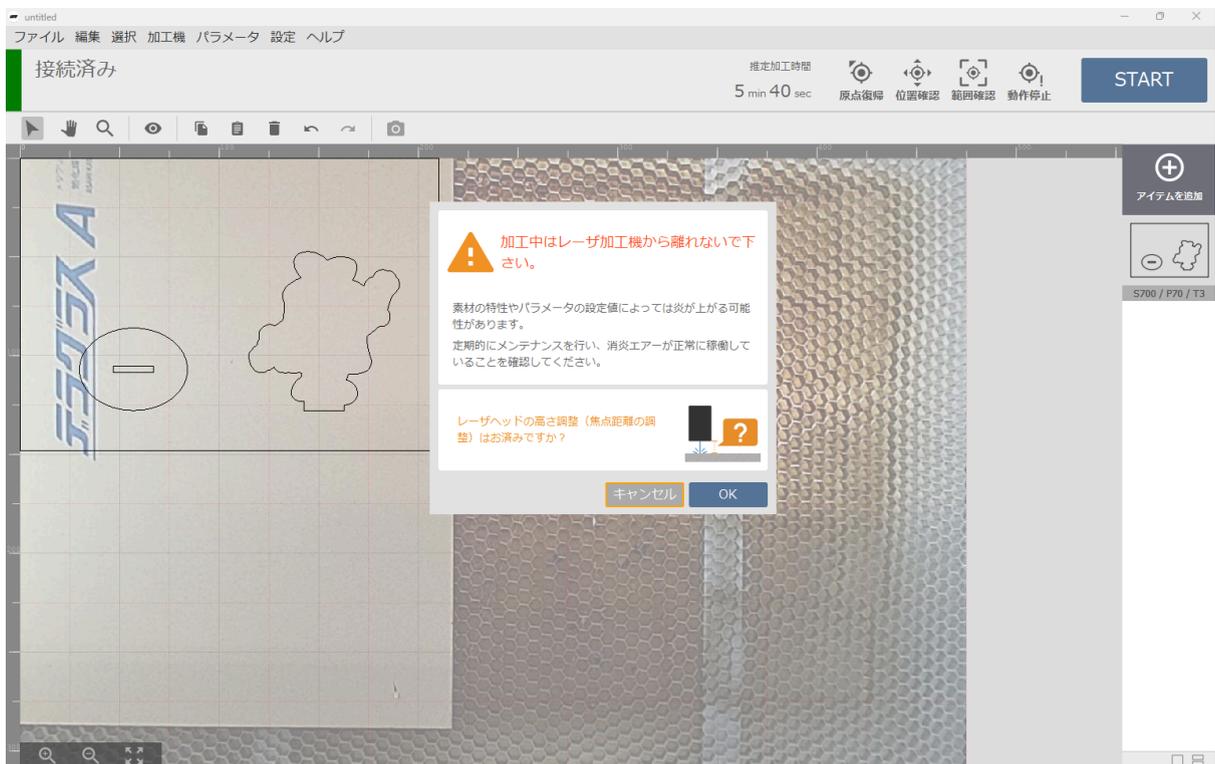


図1-11(g) レーザーカッターによる加工

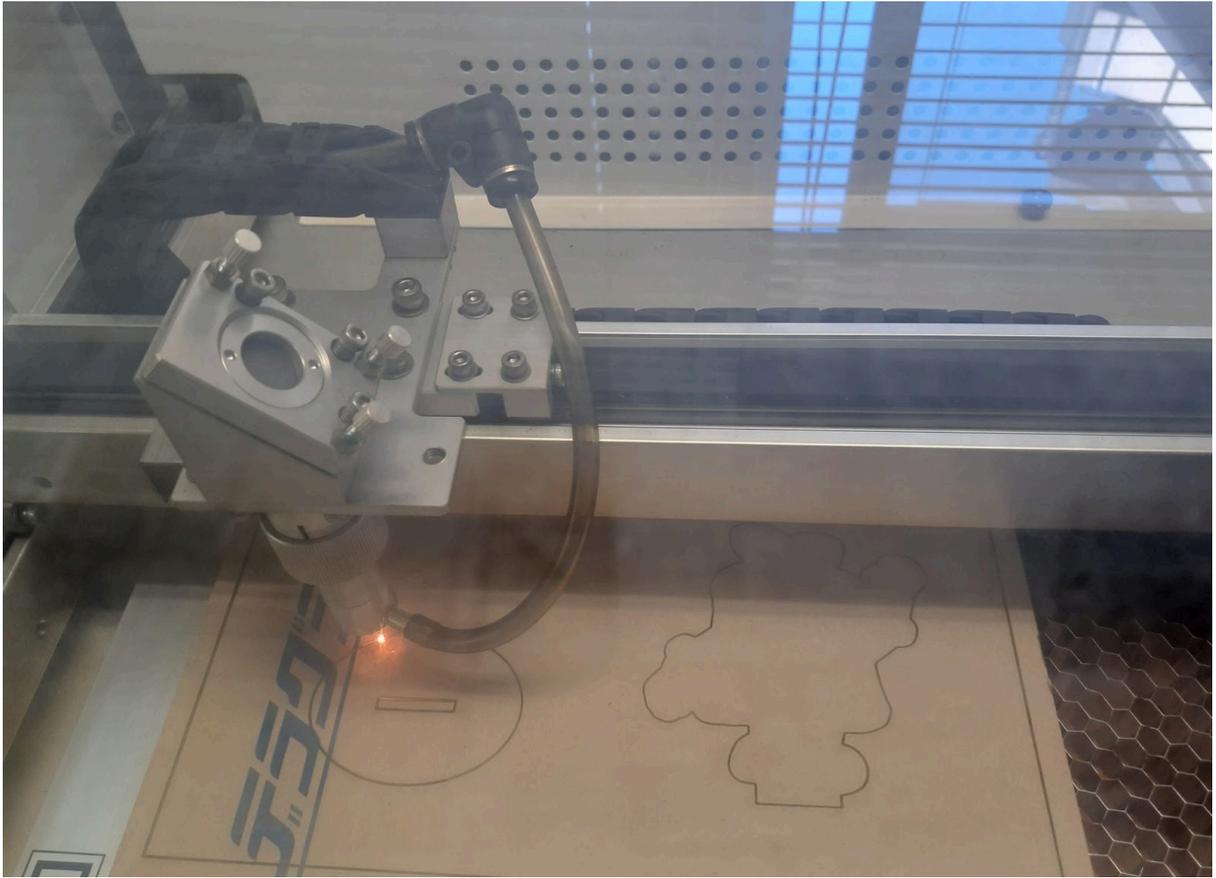


図1-11(h) レーザーカッターによる加工

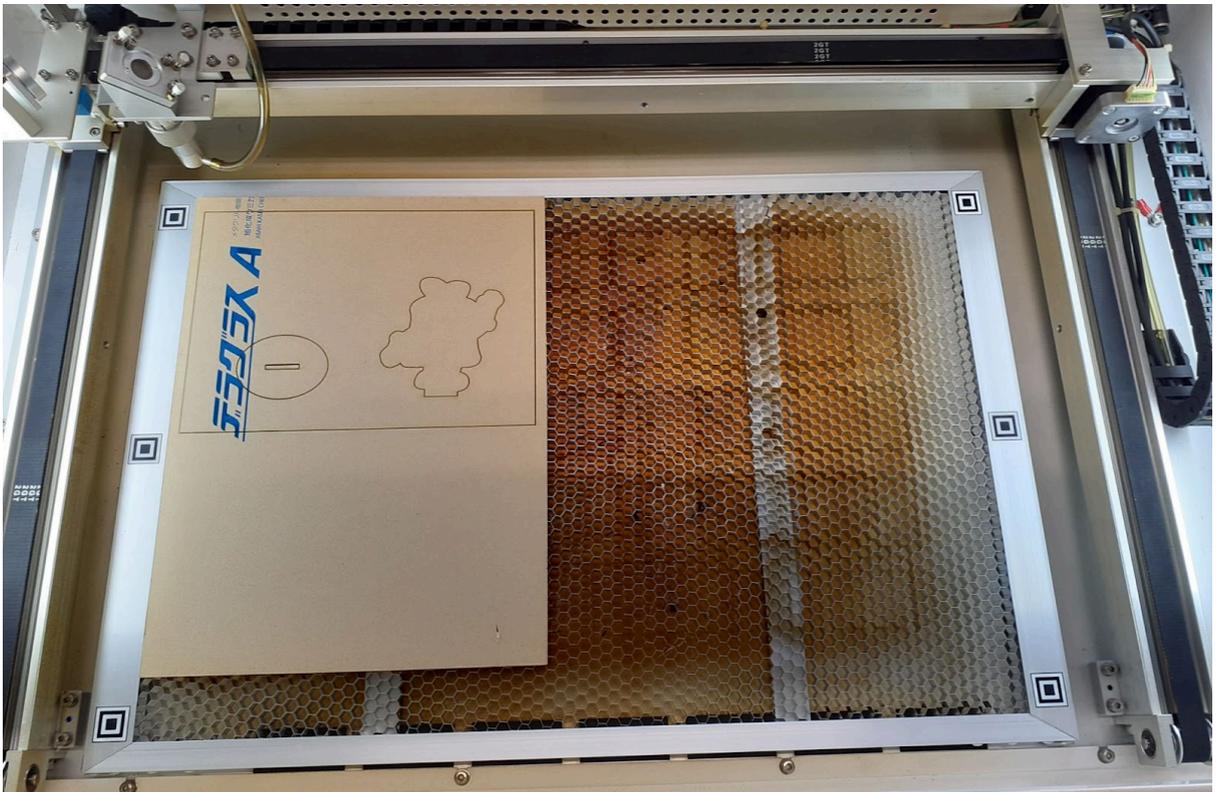


図1-11(i) レーザーカッターによる加工

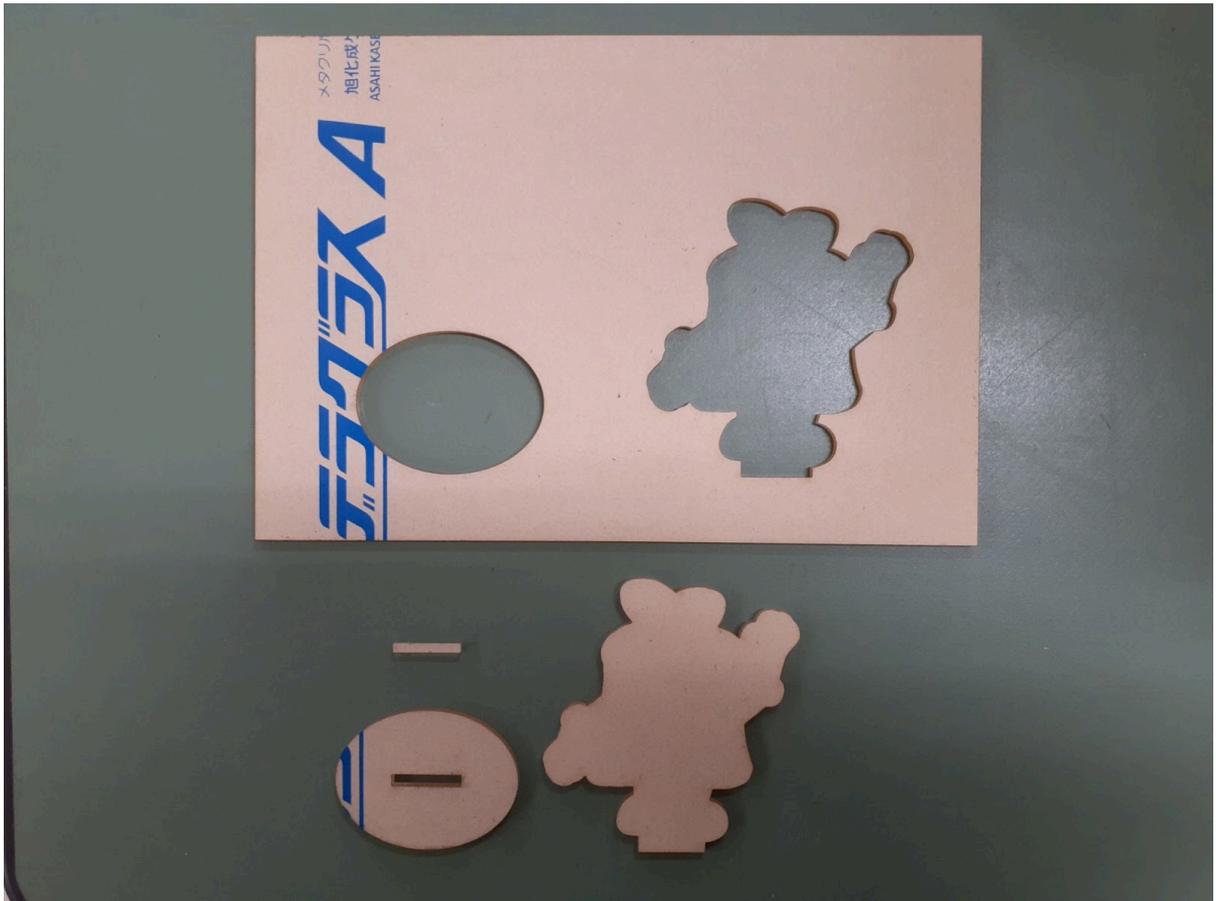


図1-11(j) レーザーカッターによる加工

1. 3 UVプリンタによる加工

UVプリンタを用いて手描きアクリルスタンドを加工する方法は下記の図1-12(a)から図1-13(u)の通りである。

1 Roland DG Connect Hubを起動し、BD Utilityを開く。追加表示されたウィンドウの右下にある電源のマークを選択する。



図1-12(a) UVプリンタによるセットアップ



図1-12(b) UVプリンタによるセットアップ

2 画面左下の「セットアップ」を選択し、MDF2.5mmの目盛り板と3mmアクリル板の高さのデータが保存されているメディアを選択し、「OK」を選択する。
 ＊該当するメディアがない場合は、メディアを新規作成する必要がある。メディアを新規作成する方法については第5章に述べた。



図1-12(c) UVプリンタによるセットアップ



図1-12(d) UVプリンタによるセットアップ

3 フラットテーブルに印刷対象物を配置する。レーザーカッターでカットしたアクリル板は、切り抜かれた状態のまま枠も含めて配置する。追加表示されたウィンドウのフラットテーブルの高さを確認し、設定内容に変更がない場合は、「OK」を選択する。



図1-12(e) UVプリンタによるセットアップ

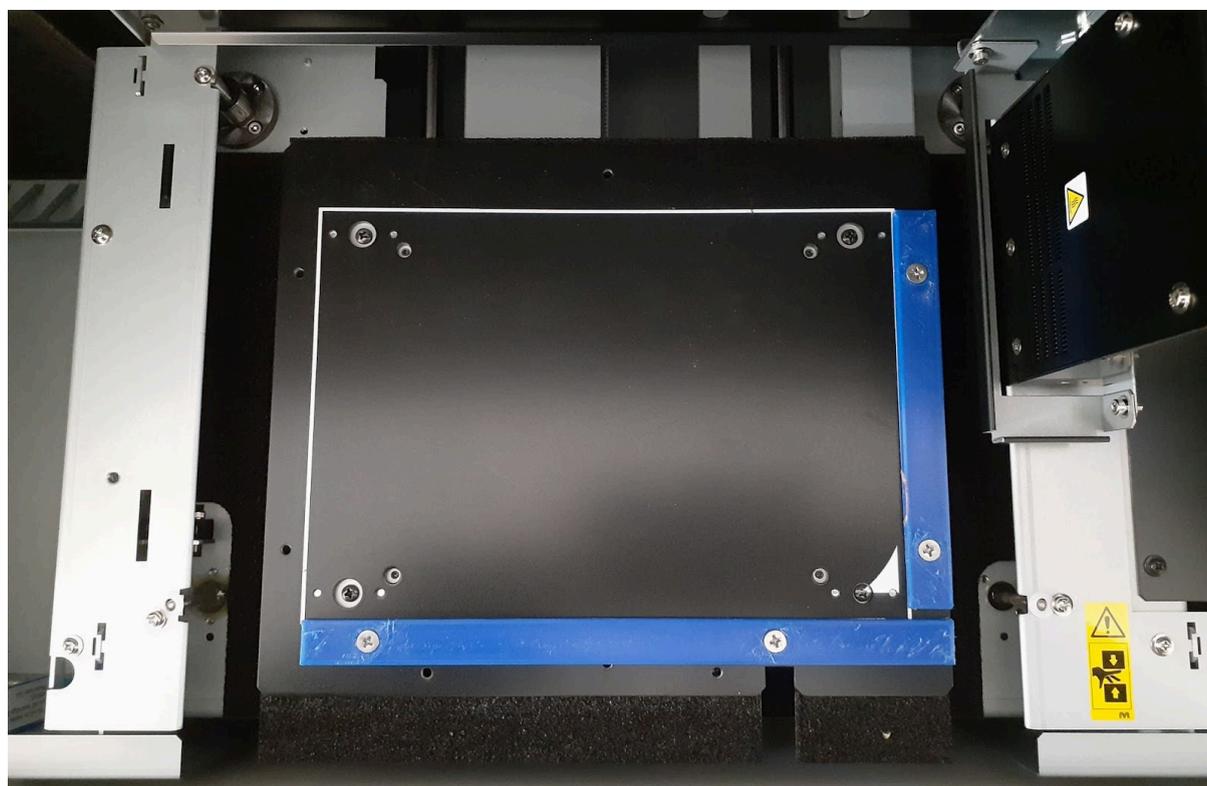


図1-12(f) UVプリンタによるセットアップ

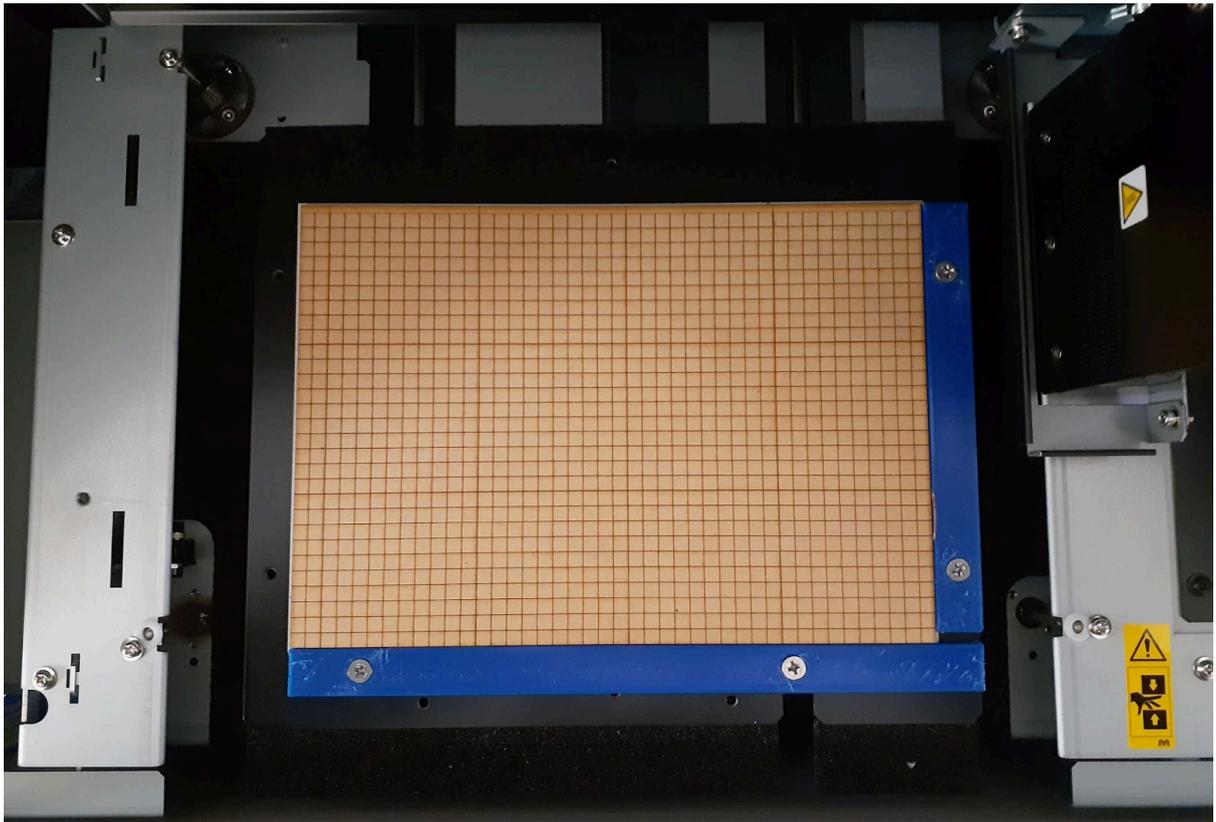


図1-12(g) UVプリンタによるセットアップ

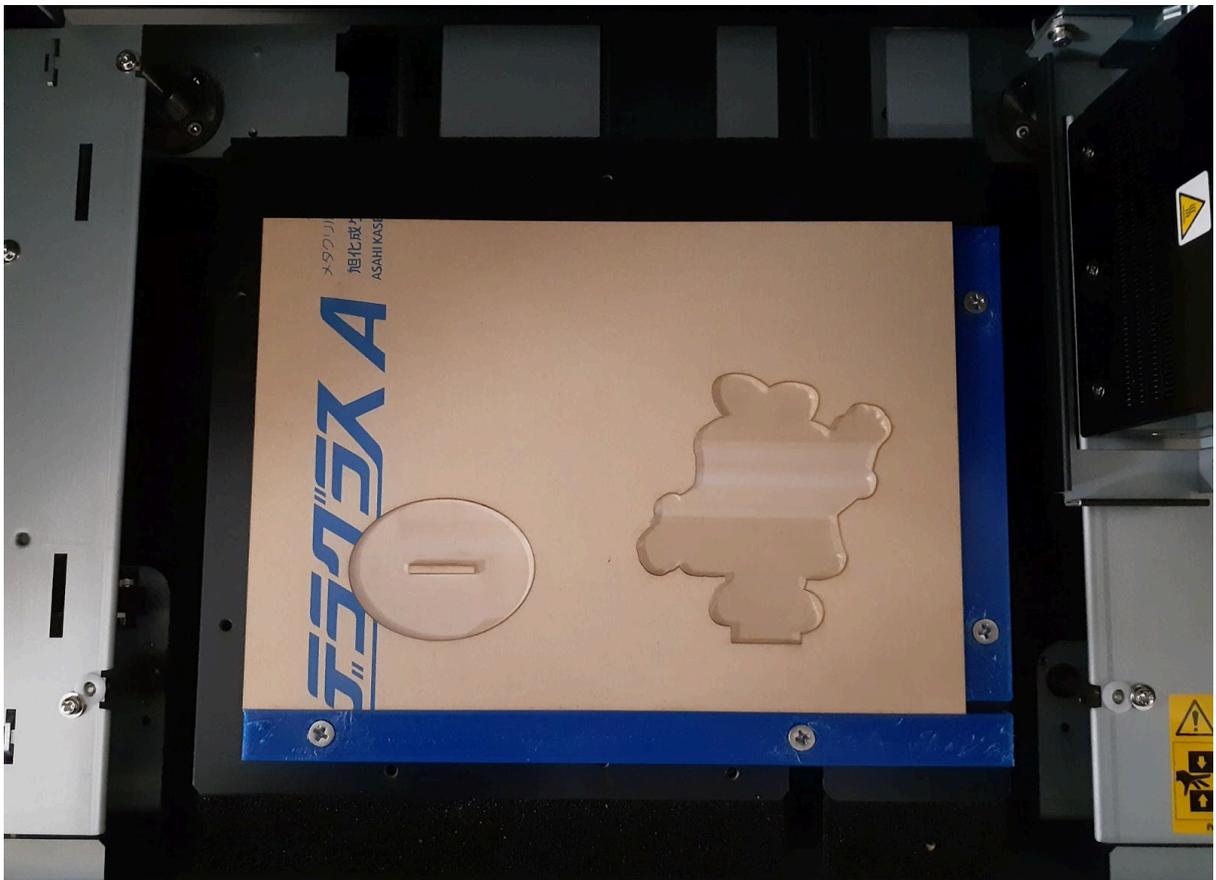


図1-12(h) UVプリンタによるセットアップ

4 画面上部に「出力できます。」と出ていることを確認し、Roland DG Connect HubウィンドウからVersaWorks6を開く。



図1-13(a) UVプリンタによる印刷

5 作成したPDF形式のファイルをエクスプローラーからVersaWorks6のジョブリストにドラッグする。読み込んだファイルを選択し、画面上部の「ジョブ(J)」タブから「Job Assistant」を選択する。

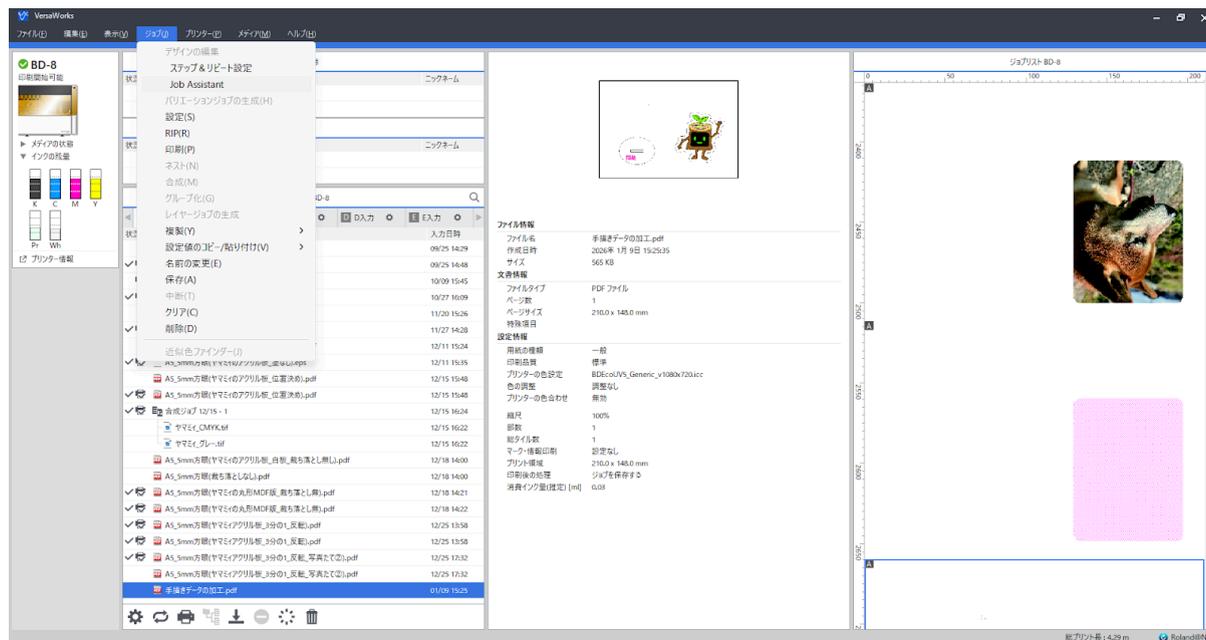


図1-13(b) UVプリンタによる印刷

6 追加表示されたウィンドウの左側の「レイヤー」を選択し、「イラスト」レイヤー以外の「印刷」のマークをクリックして斜線を入れる。その後、「OK」を選択し、「本当に追加しますか？」の質問にも「OK」を選択する。

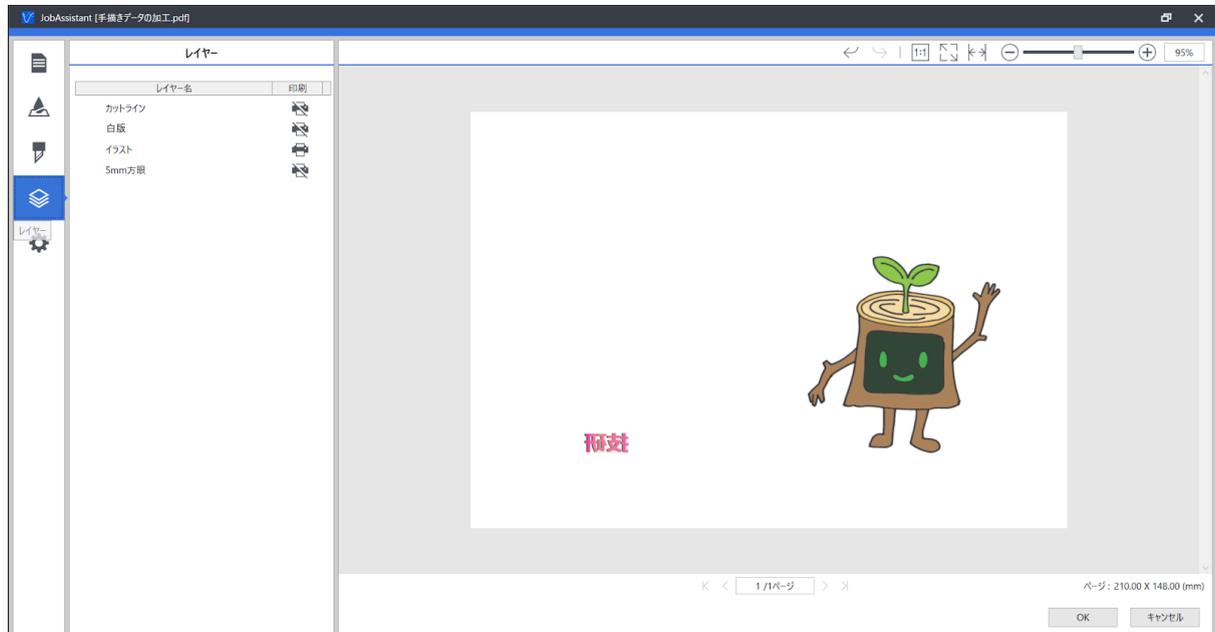


図1-13(c) UVプリンタによる印刷

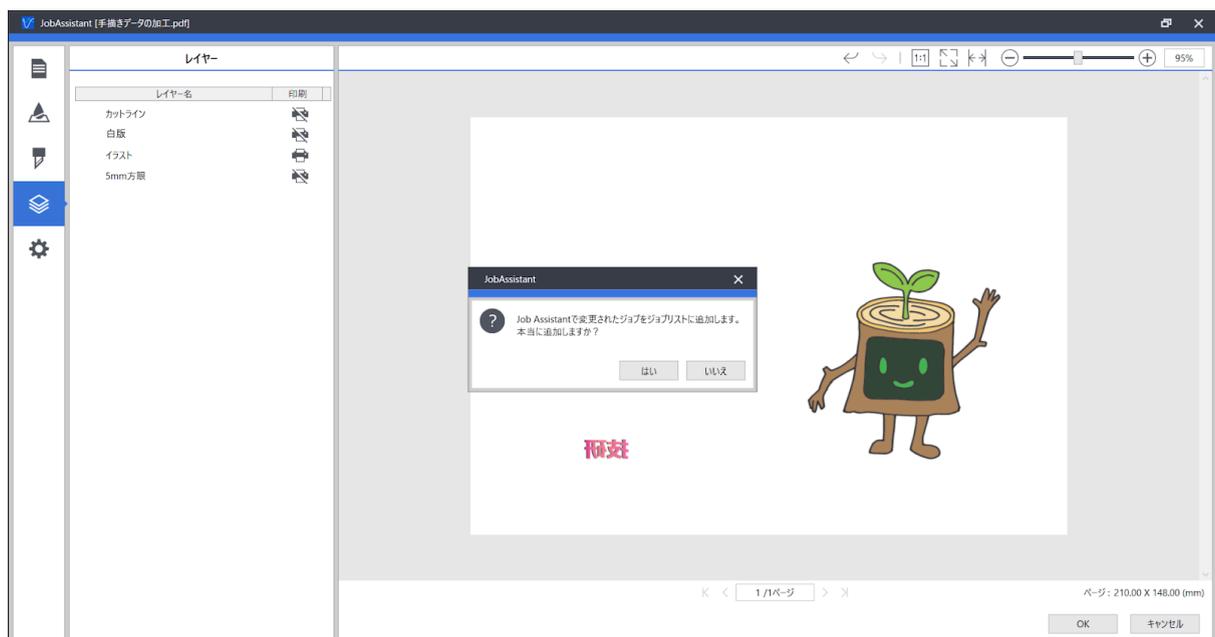


図1-13(d) UVプリンタによる印刷

7 同様に「Job Assistant」を選択し、「白版」レイヤー以外の「印刷」のマークをクリックして斜線を入れる。その後、「OK」を選択し、「本当に追加しますか？」の質問にも「OK」を選択する。

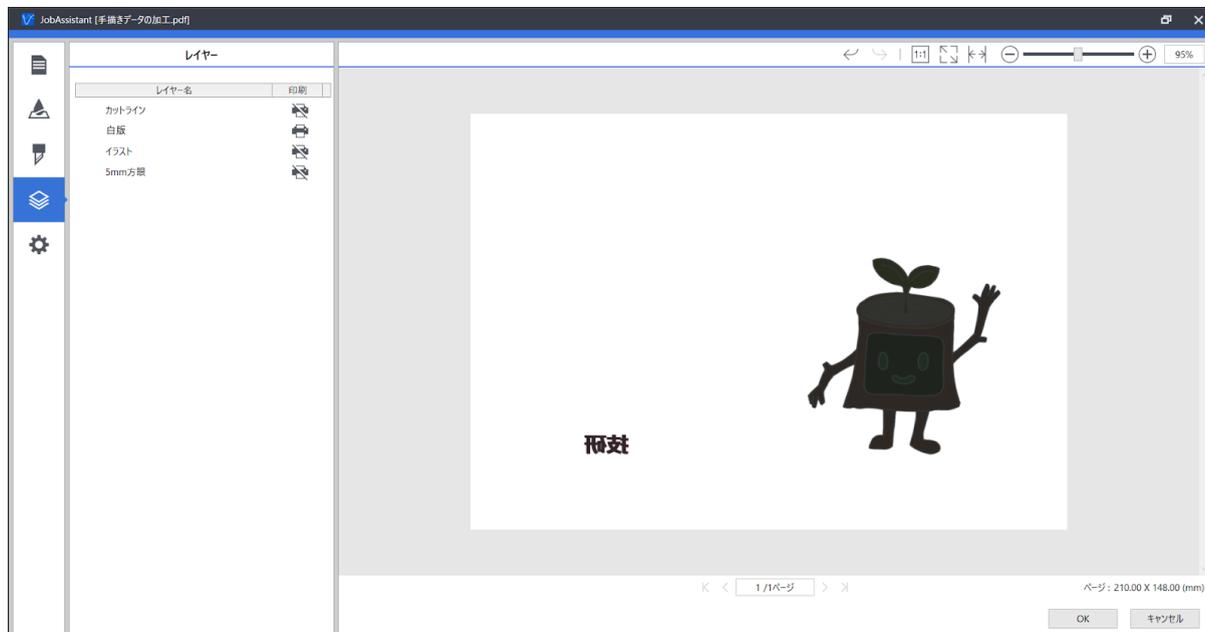


図1-13(e) UVプリンタによる印刷

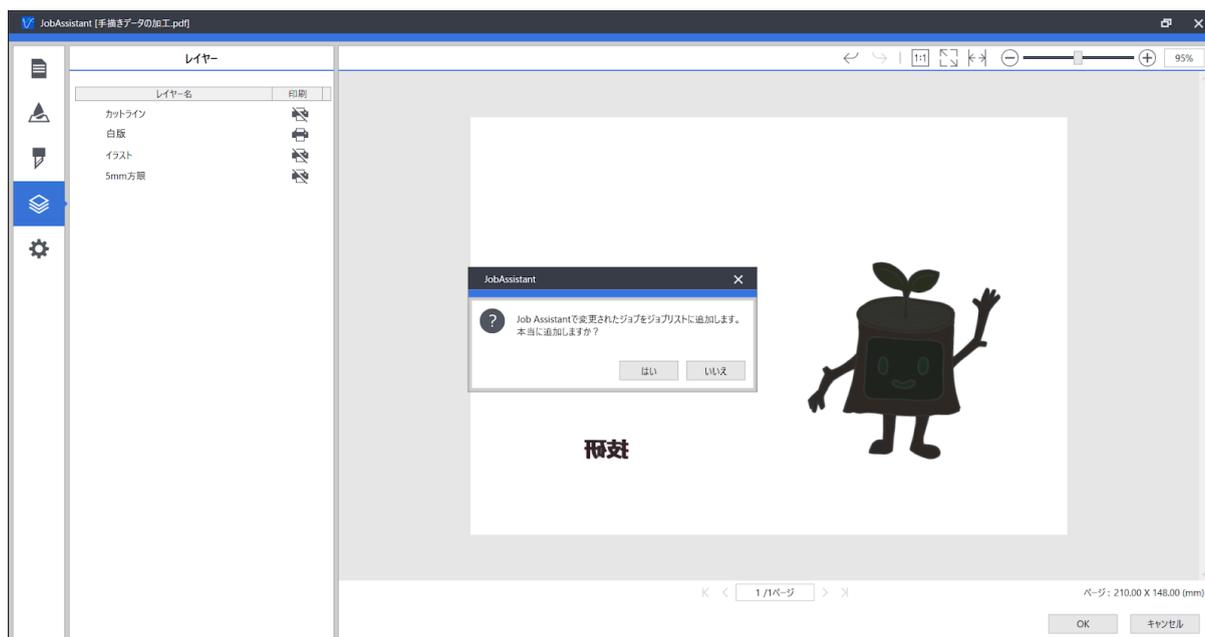


図1-13(f) UVプリンタによる印刷

8 「イラスト」レイヤーのジョブを選択し、「ジョブの設定」を選択する。

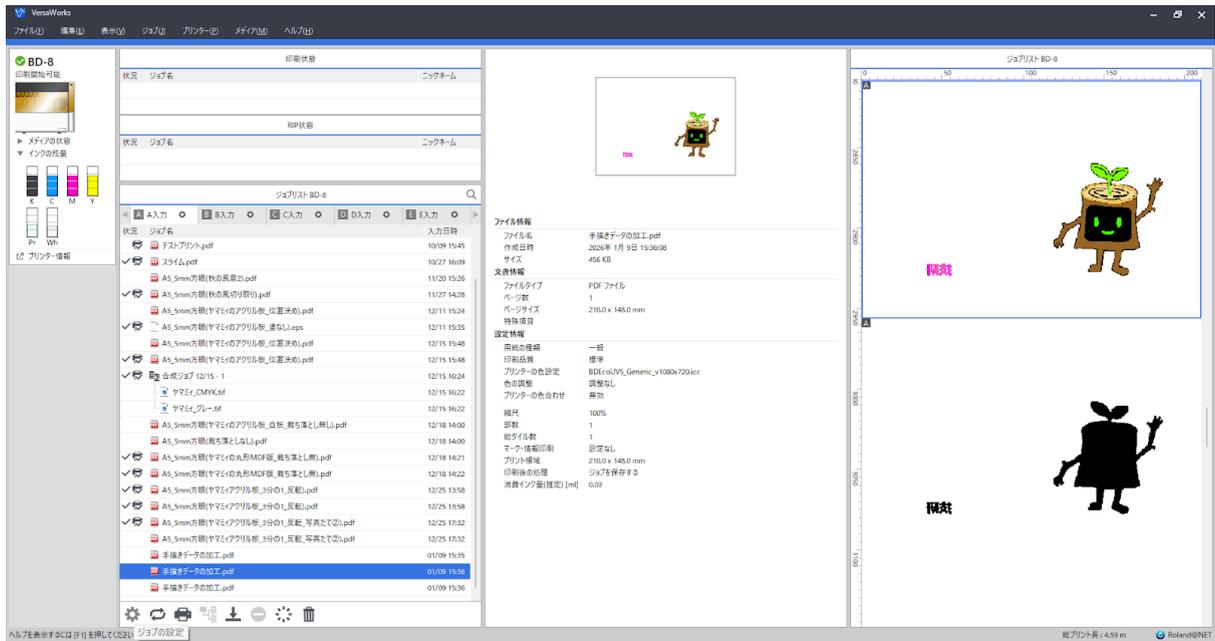


図1-13(g) UVプリンタによる印刷

9 画面左側の「レイアウト」タブを選択し、下側にある「印刷方向」の右から2つ目のマークを選択する。

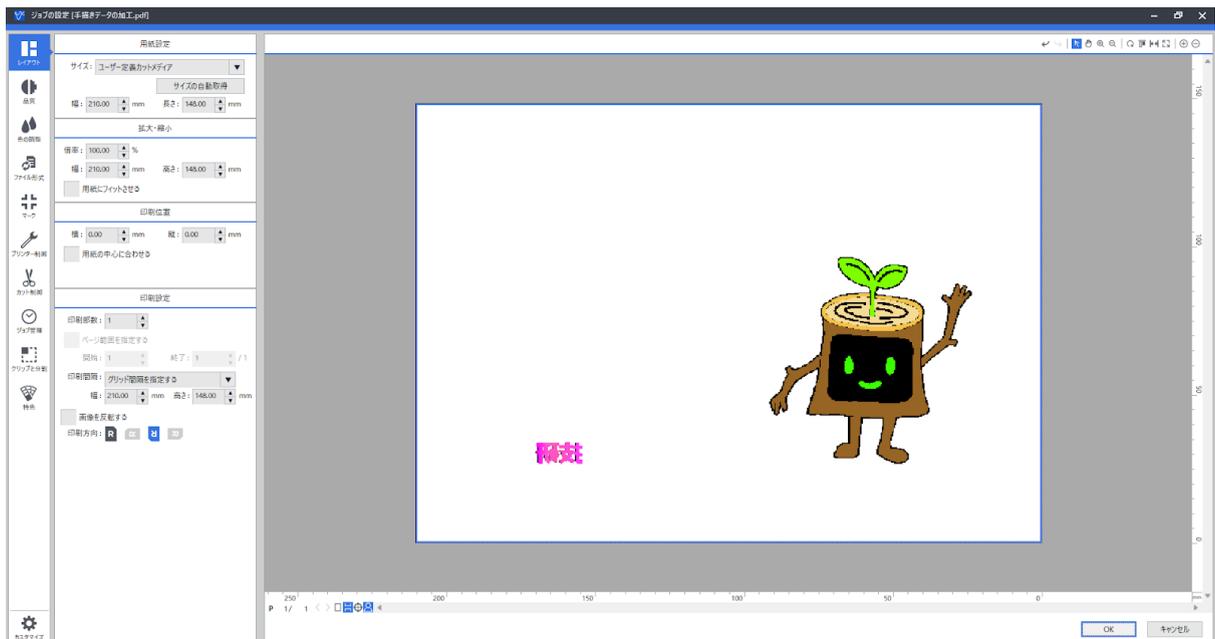


図1-13(h) UVプリンタによる印刷

10 画面左側の「品質」タブから「用紙の種類」を「一般(プライマー付)」、「モード」を「Primer->CMYK(v)」に設定する。

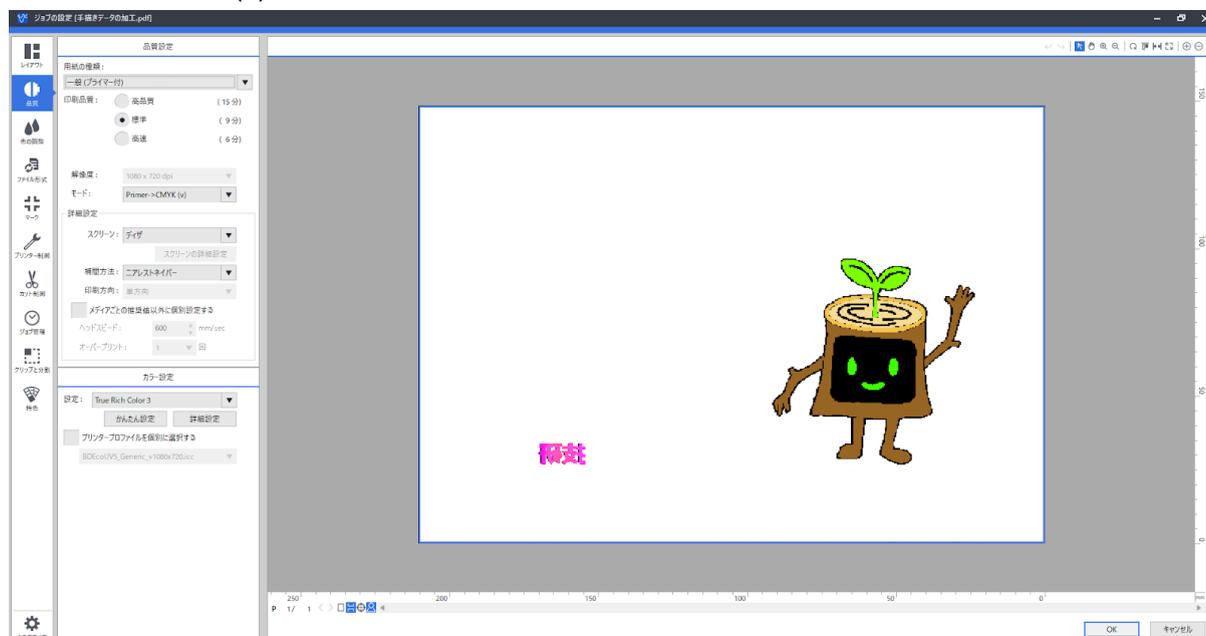


図1-13(i) UVプリンタによる印刷

11 画面左側の「特色」タブの「特色」が「プライマー」になっていることを確認する。設定内容を確認後、「OK」を選択する。

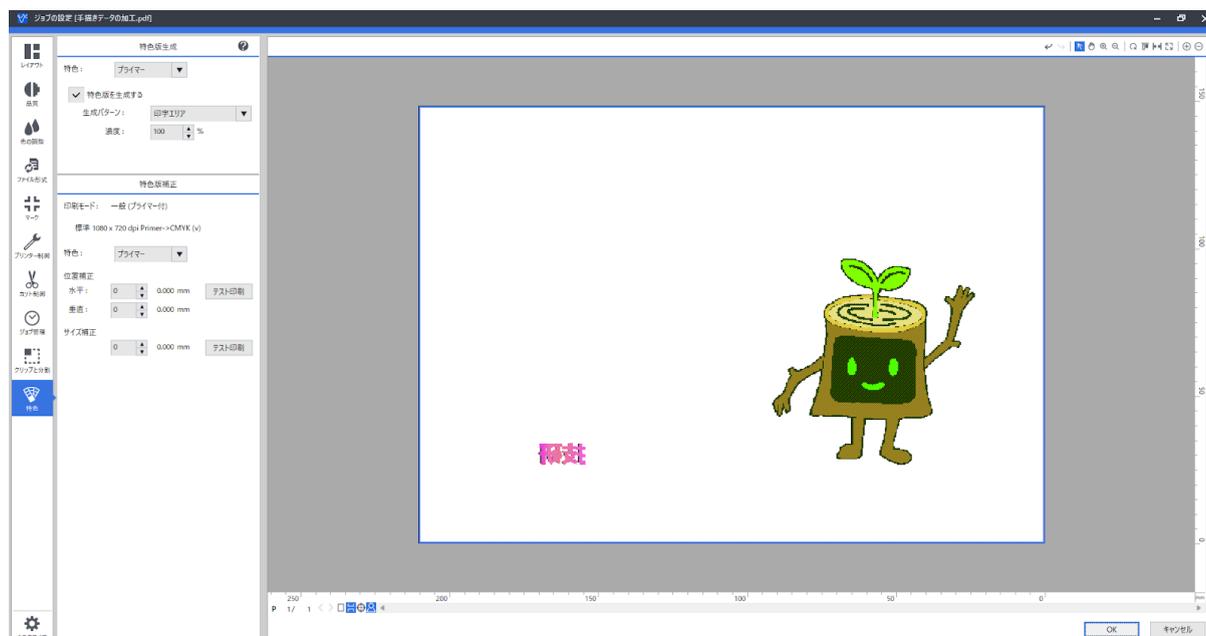


図1-13(j) UVプリンタによる印刷

12 「白版」レイヤーのジョブを選択し、「ジョブの設定」を選択する。

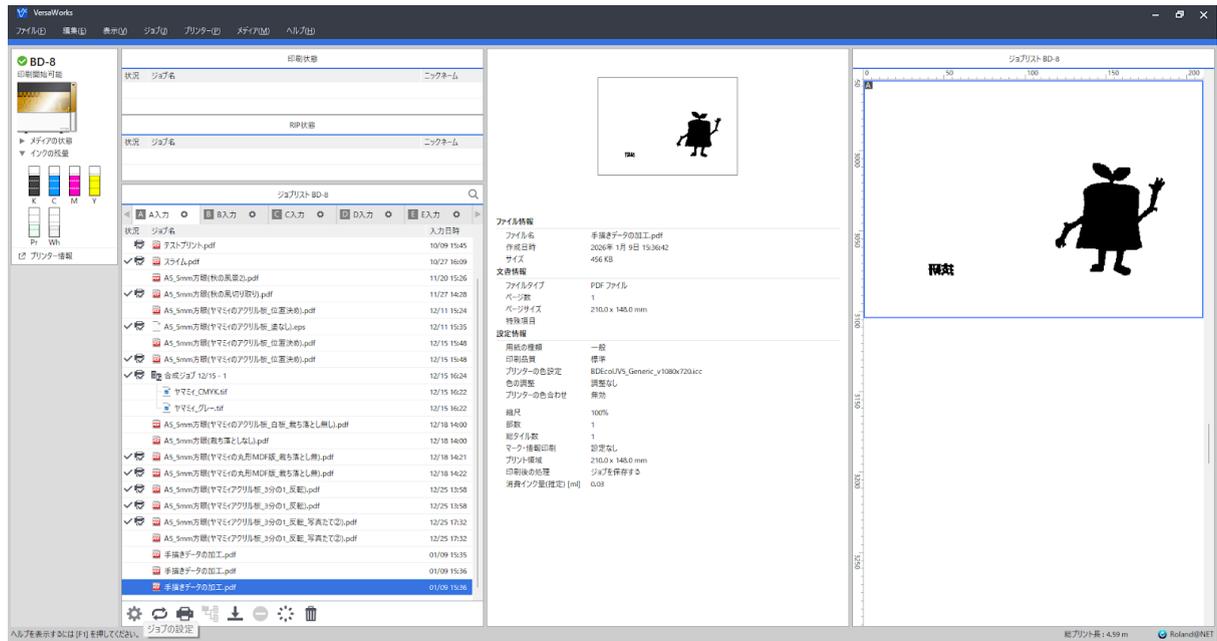


図1-13(k) UVプリンタによる印刷

13 画面左側の「レイアウト」タブを選択し、下側にある「印刷方向」の右から2つ目のマークを選択する。

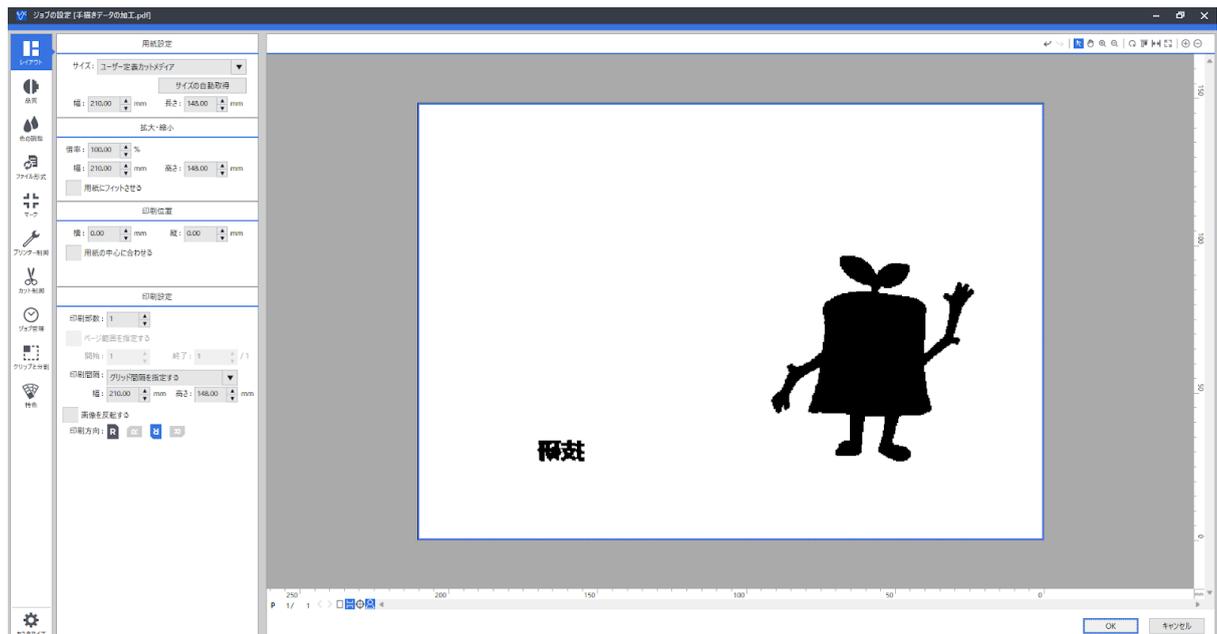


図1-13(l) UVプリンタによる印刷

14 画面左側の「品質」タブから「用紙の種類」を「一般」、「モード」を「White(v)」に設定する。



図1-13(m) UVプリンタによる印刷

15 画面左側の「特色」タブの「特色」を「ホワイト」に設定し、「特色版を生成する」にチェックを入れる。設定内容を確認後、「OK」を選択する。

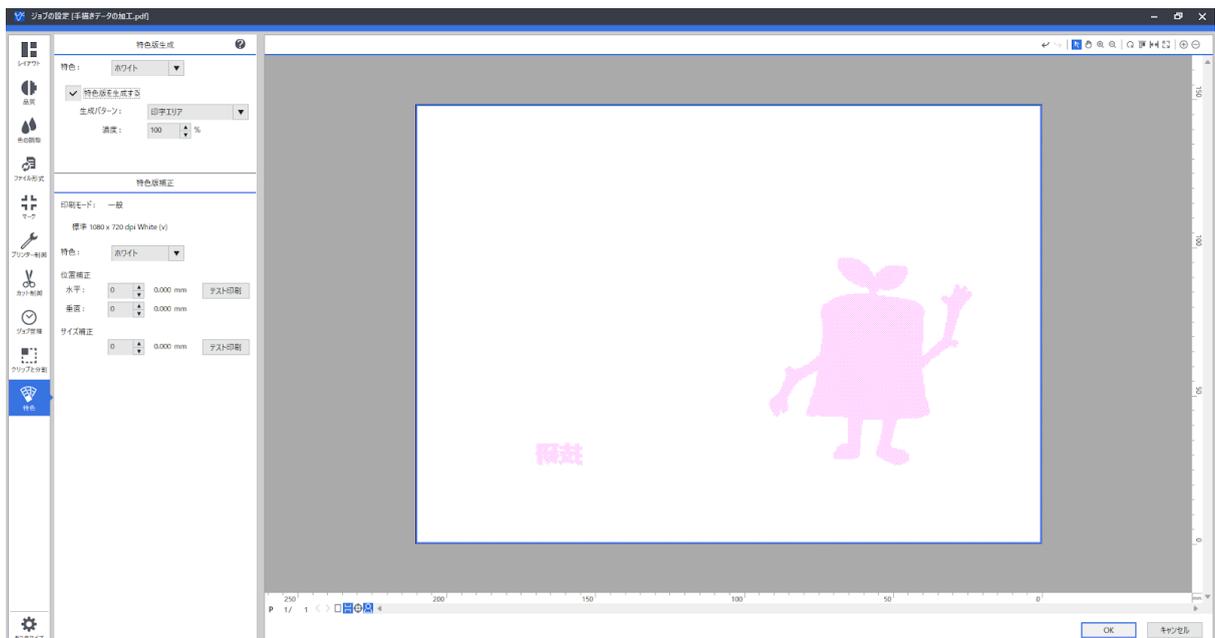


図1-13(n) UVプリンタによる印刷

16 「イラスト」レイヤーのジョブを選択し、「印刷」のマークを選択する。印刷回数を1に設定し、「印刷」を選択する。

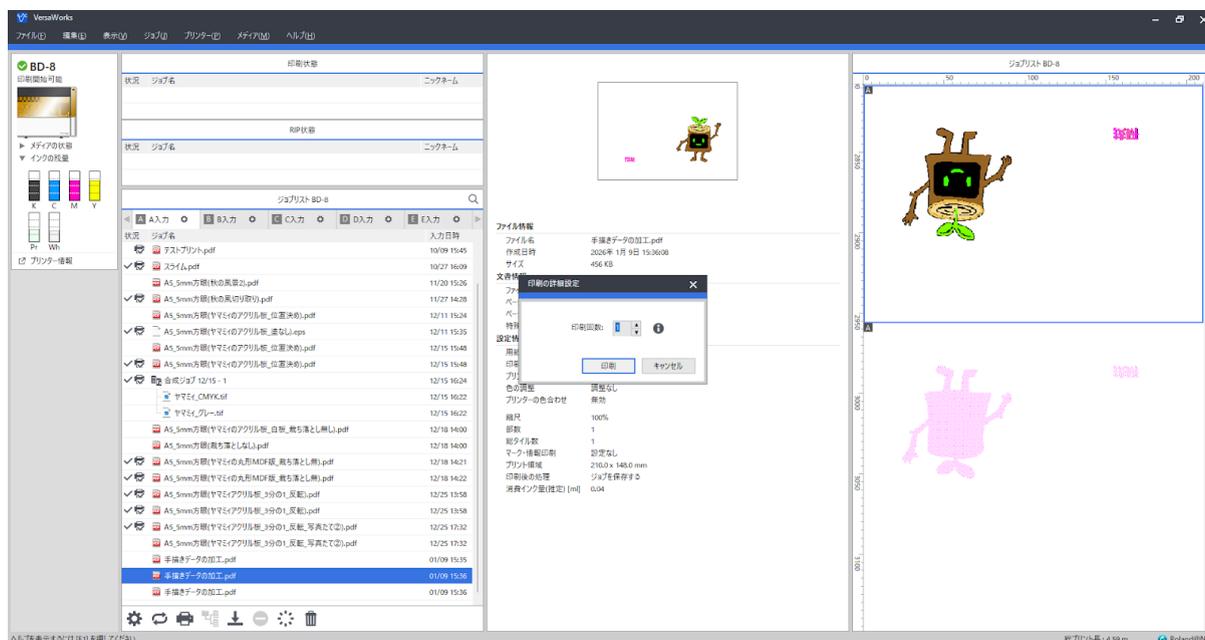


図1-13(o) UVプリンタによる印刷

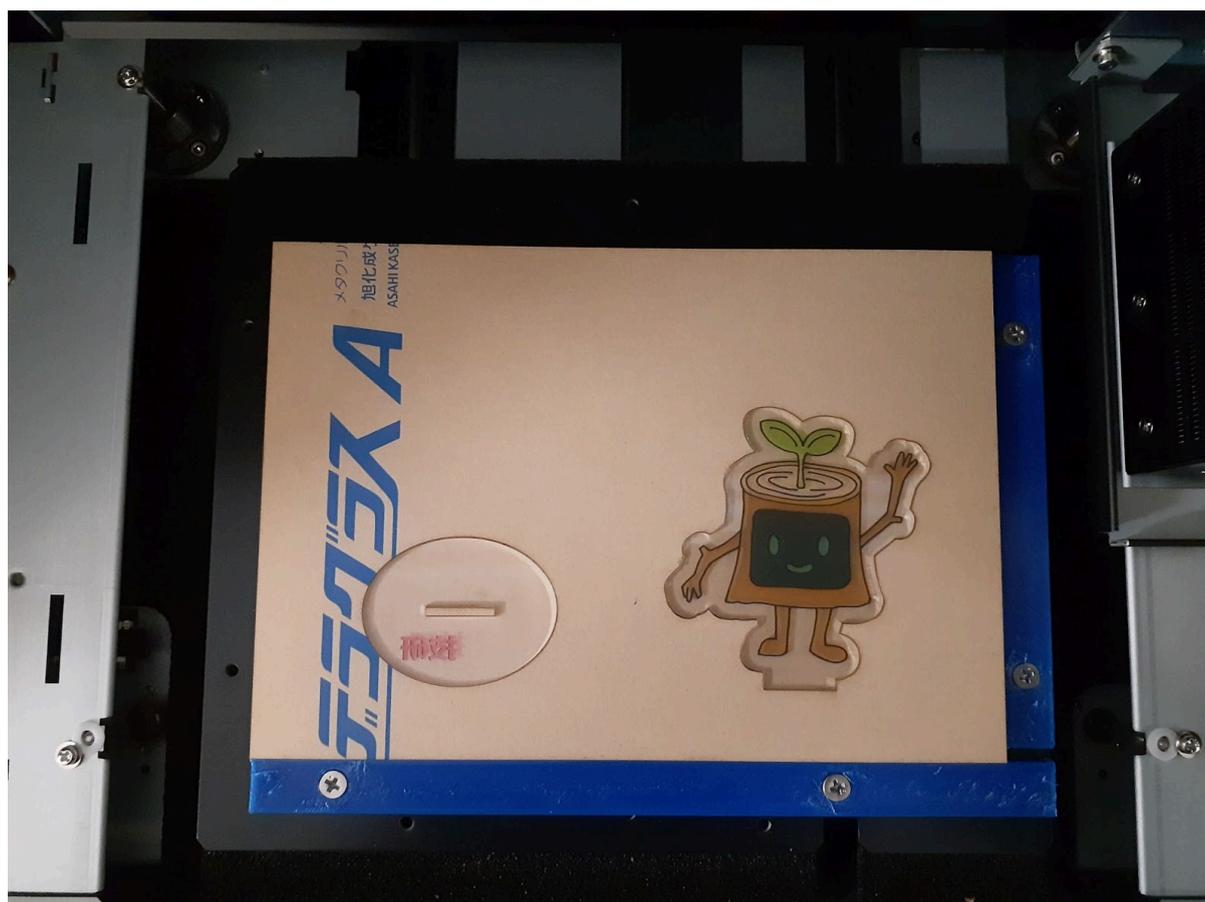


図1-13(p) UVプリンタによる印刷

17 「白版」レイヤーのジョブを選択し、「印刷」のマークを選択する。印刷回数を1に設定し、「印刷」を選択する。

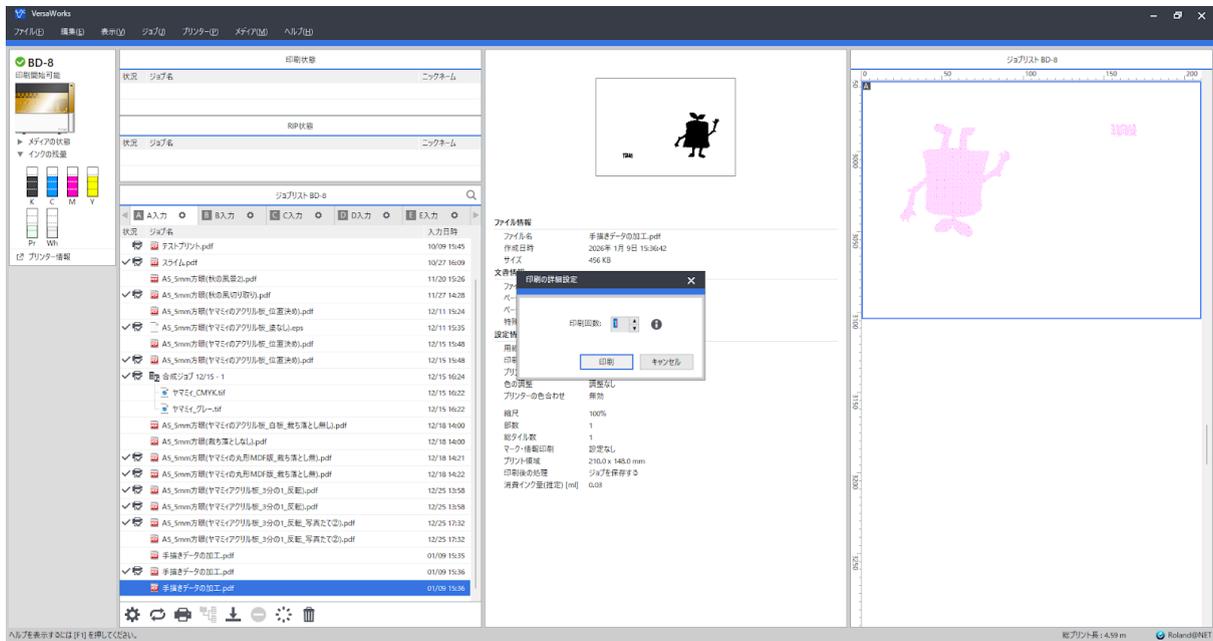


図1-13(q) UVプリンタによる印刷

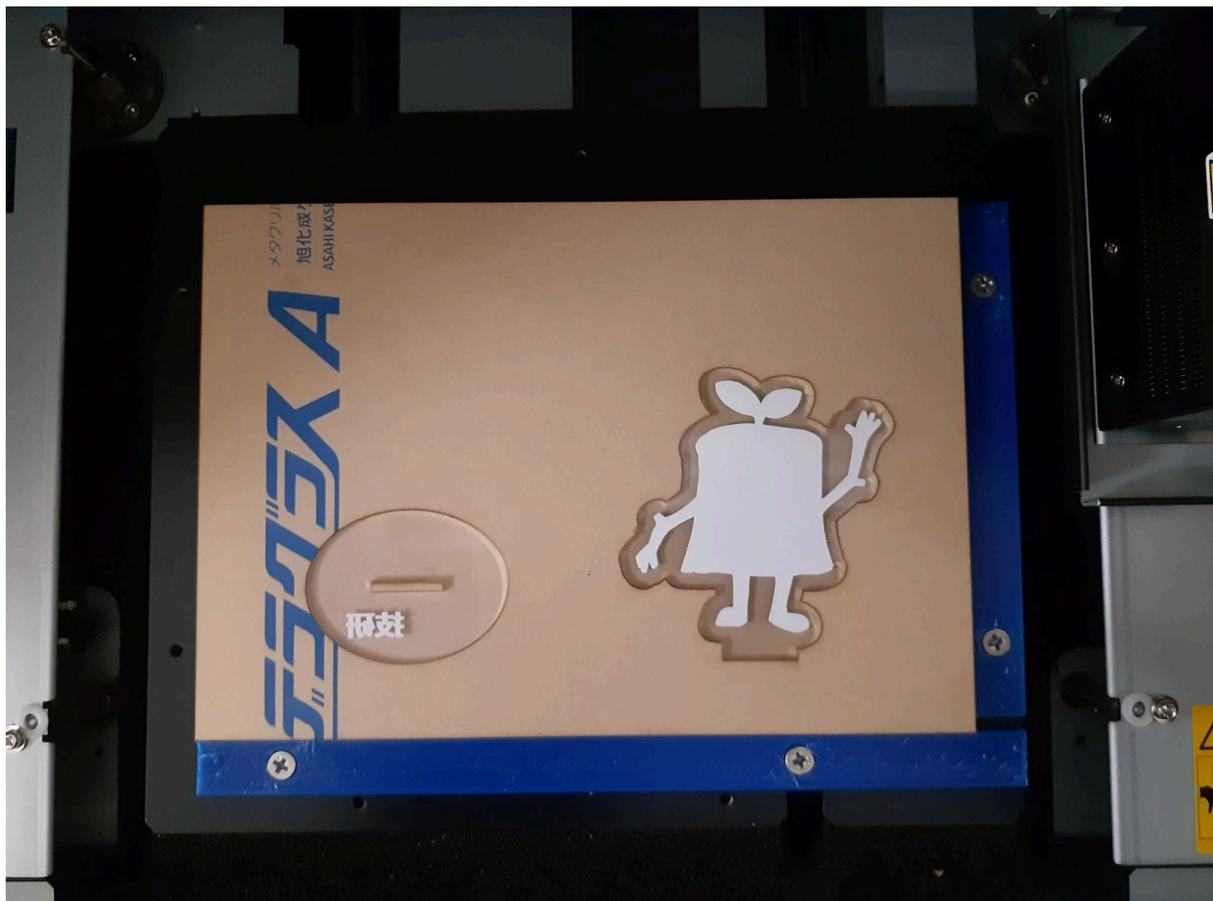


図1-13(r) UVプリンタによる印刷

18 印刷対象物を取り出し、組み立てを行う。その際、土台に挿入しづらい場合には、やすりをかけるようにする。



図1-13(s) UVプリンタによる印刷



図1-13(t) UVプリンタによる印刷



図1-13(u) UVプリンタによる印刷